

## 日本認知科学会第 34 回大会のお知らせ

### 会期

2017 年 9 月 13 日(水), 14 日(木), 15 日(金)

### 会場

金沢大学 角間キャンパス 人間社会第 1 講義棟

### 参加費

	正会員	学生会員	非会員(一般)	非会員(学生)
参加費	7,000 円	4,000 円	10,000 円	7,000 円

### 懇親会

14 日(木) 18:00 ごろから第 1 講義棟一階ロビー(101 講義室・受付前)にて, 軽食と飲み物をご用意いたします。大会参加者は無料です。ぜひご参加ください。

### お問い合わせ先

大会 Web ページ : <http://www.jcss.gr.jp/meetings/jcss2017/index.html>  
実行委員会 : [jcss2017@jcss.gr.jp](mailto:jcss2017@jcss.gr.jp)  
プログラム委員会 : [jcss2017-pc@jcss.gr.jp](mailto:jcss2017-pc@jcss.gr.jp)

## 日本認知科学会第 34 回大会委員会

大会委員長 永井 由佳里（北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)）

実行委員長 小島 治幸（金沢大学）

プログラム委員長 日高 昇平（JAIST）

### 実行委員

谷内 通（金沢大学），安永 大地（金沢大学），宮田 一乘（JAIST），西本 一志（JAIST），藤波 努（JAIST），吉高 淳夫（JAIST）

### プログラム委員

伊丸岡 俊秀（金沢工業大学），田中 吉史（金沢工業大学），金野 武司（金沢工業大学），荷方 邦夫（金沢美術工芸大学），鳥居 拓馬（JAIST），阿部 慶賀（岐阜聖徳学園大学），岡部 大介（東京都市大学），新垣 紀子（成城大学），永井 聖剛（立命館大学），南部 美砂子（はこだて未来大学，前プログラム委員長）

会場（金沢大学 角間キャンパス 人間社会第1 講義棟）

	会場	13日(水)	14日(木)	15日(金)
大会受付	1階ロビー			
クローク	1階会議室	8:30-18:40	8:30-19:30	8:30-18:10
大会本部	304 演習室			
交流スペース	204 講義室	8:30-18:40	8:30-18:10	8:30-18:10
特別企画シンポジウム				10:30-12:00
総会			13:30-14:00	
野島賞 報告セッション		15:30-16:00		
特別講演			14:10-15:30	
フェロー講演	101 講義室	14:30-15:30		
口頭発表 1		9:10-10:30		
口頭発表 2			9:00-10:20	
口頭発表 3				9:00-10:20
フラッシュトーク		10:30-11:30		
ポスターセッション 1	202, 203 講義室	12:30-14:30		
ポスターセッション 2	202, 203 講義室		10:30-12:30	
OS01 質感の認知科学	313 講義室			13:00-15:30
OS02 J・D・M	102 講義室	16:10-18:40		
OS03 プロジェクション	101 講義室		15:40-18:10	
OS04 フィールド 3	301 講義室			13:00-18:10
OS05 ホモ・クオリタス	101 講義室			13:00-15:30
OS06 即興と身体性	102 講義室		15:40-18:10	
OS08 情報可視化	102 講義室			13:00-15:30
OS09 同じさの諸相	302 講義室	16:10-18:40		
OS10 創造性のキモ	102 講義室			15:40-18:10
OS11 HRI の新展開	201 講義室			13:00-18:10
OS12 複雑性	201 講義室		15:40-18:10	
OS13 異質な集団	302 講義室		15:40-18:10	
OS14 心理言語学	101 講義室			15:40-18:10
OS15 実践デザイン	301 講義室	16:10-18:40		
OS16 相互行為	301 講義室		15:40-18:10	
OS17 再帰性	201 講義室	16:10-18:40		

OS18 物語生成	302 講義室			13:00-18:10
編集委員会	302 講義室	11:30-12:30		
運営委員会	302 講義室		12:30-13:30	
企業展示	204 講義室	8:30-18:40	8:30-18:10	8:30-18:10

# スケジュール

9月13日(水)

人間社会第1講義棟

8:30	受付開始 @ 1階ロビー
9:00	開会の挨拶
9:10	口頭発表1
10:30	
10:30	フラッシュトーク
11:30	昼休み 編集委員会 @302講義室
12:30	ポスターセッション1 @202, 203講義室 (9:00 から掲示可)
14:30	フェロー講演 筧一彦氏, 横澤一彦氏 「視覚と聴覚におけるつじつま合わせ」
15:30	野島久雄賞 報告セッション
16:00	休憩
16:10	オーガナイズドセッション OS02 @102講義室 OS09 @302講義室 OS15 @301講義室 OS17 @201講義室
18:40	

9月14日(木)

人間社会第1講義棟

8:30	受付開始 @ 1階ロビー
9:00	口頭発表2
10:20	
10:20	休憩
10:30	ポスターセッション2 @202, 203講義室 (9:00 から掲示可)
12:30	昼休み 運営委員会 @302講義室
13:30	総会
14:00	休憩
14:10	特別講演 大橋拓文氏 「人工知能と棋士は 囲碁の深淵に迫れるか」
15:30	休憩
15:40	オーガナイズドセッション OS03 @101講義室 OS06 @102講義室 OS12 @201講義室 OS13 @302講義室 OS16 @301講義室
18:10	
18:10	懇親会 @ 1階ロビー
19:30	

9月15日(金)

人間社会第1講義棟

8:30	受付開始 @ 1階ロビー
9:00	口頭発表3
10:20	
10:20	休憩
10:30	特別企画シンポジウム 浅田稔氏 「認知科学とロボティクスの未来」
12:00	昼休み
13:00	オーガナイズドセッション OS01 @313講義室 OS04 @301講義室 OS05 @101講義室 OS08 @102講義室 OS11 @201講義室 OS18 @302講義室
15:30	休憩
15:40	オーガナイズドセッション OS04 @301講義室 OS10 @102講義室 OS11 @201講義室 OS14 @101講義室 OS18 @302講義室
18:10	

## 参加者へのご案内

### (1) 参加受付・クローク

場所： 金沢大学角間キャンパス 人間社会第1講義棟 1階ロビー・会議室

時間： 13日(水) 8:30-18:40

14日(木) 8:30-18:10

15日(金) 8:30-18:10

### (2) 発表者

#### 口頭発表

- ・発表 15分, 質疑応答 5分です
- ・VGA出力端子(D-Sub15ピン)のあるPCを各自でご用意ください  
プロジェクターとスピーカー(3.5mmミニプラグ)を使用することができます
- ・発表者は, セッション開始の5分前までに, PCの接続確認と座長による出席確認をすませてください

#### ポスター発表

- ・ポスターボードのサイズは幅1100×高1650mmです
- ・掲示に必要なピン等は, ポスター会場受付にてお渡しします
- ・当日のセッション開始時刻までに掲示してください  
13日, 14日は9:00から掲示できます
- ・在席責任時間は, 以下の通りです  
ポスター1(13日): 奇数番号 12:30~13:30 偶数番号 13:30~14:30  
ポスター2(14日): 奇数番号 10:30~11:30 偶数番号 11:30~12:30

#### フラッシュトーク

- ・ポスター1(13日)のフラッシュトーク希望の発表が対象です
- ・研究概要を1分間で説明してください
- ・PC(VGA出力端子付)は各自でご用意ください

#### オーガナイズドセッション

- ・ PC (VGA 出力端子付) は各自でご用意ください  
プロジェクターとスピーカーを使用することができます

(3) 総会

日本認知科学会の会員総会を 14 日(木) 13:30 より, 人間社会第 1 講義棟 101 講義室にて開催いたします。会員の方はぜひご参加ください。

(4) 委員会

編集委員会は 13 日(水) 11:30 より, 運営委員会は 14 日(木) 12:30 より第 1 講義棟 302 講義室にて開催されます。

(5) 懇親会

14 日(木) 18:00 ごろから第 1 講義棟一階ロビー(101 講義室・受付前)にて, 軽食と飲み物をご用意いたします。大会参加者は無料です。ぜひご参加ください。

9月13日(水)

## 口頭発表1

9:10-10:30 会場：101 講義室

座長：内海彰（電気通信大学）

O1-1 概念融合による創発：視覚的注意の時間動態

寺井あすか(公立はこだて未来大学), 楠見孝(京都大学), 地村弘二(慶應義塾大学)

O1-2 因果帰納におけるフレームの切り替え

服部郁子(立命館大学 文学部), 服部雅史(立命館大学 総合心理学部)

O1-3 利き手と逆の手の比較に基づく熟達技能への実験的アプローチ

鳥居拓馬(北陸先端科学技術大学院大学), 日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学)

O1-4 ディストラクタの記憶にみられる文化と加齢の影響

原田悦子(筑波大学人間系), 浅野昭祐((株)イデアラボ), Lynn Hasher(トロント大学心理学部)

## フラッシュトーク

10:30-11:30 会場：101 講義室

司会：金野武司

ポスターセッション1の発表のうち, 番号末尾にFのあるものが対象. 口頭で1分間の概要を発表.

## 編集委員会

11:30-12:30 会場：302 講義室

## ポスターセッション1

12:30-14:30 会場：202, 203 講義室

P1-1F 負荷が制約緩和に与える影響

小田切史士(青山学院大学 社会情報学研究科), 小出諒(東京大学 学際情報学府), 鈴木宏昭(青山学院大学 人間科学部)

P1-2F なぜ図の特定の知覚的パターンが意味をもつのか

下嶋篤(同志社大学文化情報学部), Dave Barker-Plummer(Center for the Study of

Language and Information)

- P1-3F 先行オルグと読後の内容討議での役割による理解の差 ( I I )  
光田基郎(大阪教育福祉専門学校)
- P1-4F 学びの3層構造と習熟化に伴う包含的關係について  
宇野正明(代々木ゼミナール)
- P1-5F 進化シミュレーションで獲得した効用関数検証のための分析と実験について  
鶴島彰(セコム株式会社 IS 研究所)
- P1-6F 変則事例に対する記述的処方略に関する実験的検討  
松林翔太(名古屋大学大学院 情報科学研究科), 三輪和久(名古屋大学大学院 情報学研究科), 寺井仁(近畿大学 産業理工学部)
- P1-7F なじみ深さ, 知識 -統計モデルによる推論プロセスの検証-  
白砂大(東京大学大学院総合文化研究科), 本田秀仁(東京大学大学院総合文化研究科), 松香敏彦(千葉大学文学部認知情報科学講座), 植田一博(東京大学大学院総合文化研究科)
- P1-8F 仮想オブジェクトを介した視覚的コミュニケーションにおけるターンテイクダイナミクスの分析  
入江諒(金沢工業大学 工学部 電子情報通信工学科), 金野武司(金沢工業大学 工学部 電子情報通信工学科)
- P1-9F 学習者・保護者・研究者による協調的学習問題解決の事例研究  
高岸悟(放送大学)
- P1-10F 記号コミュニケーションにおいて言外の意味を推定する計算モデルの人への効果  
河上章太郎(金沢工業大学 工学部 電子情報通信工学科), 金野武司(金沢工業大学 工学部 電子情報通信工学科)
- P1-11F 透明性錯覚におけるメッセージ内容と見積もりフレームの相互作用  
阿部慶賀(岐阜聖徳学園大学)
- P1-12F 沈黙は金, 金額は壁: "最低"いくらのアンカリング効果  
中村國則(成城大学社会イノベーション学部)
- P1-13F 読み時間と統語・意味分類  
浅原正幸(人間文化研究機構 国立国語研究所), 加藤祥(人間文化研究機構 国立国語研究所)
- P1-14F コミュニケーションシステムの形成における意図せぬ模倣の役割  
森田純哉(静岡大学), 金野武司(金沢工業大学), 奥田次郎(京都産業大学), 鮫島和行(玉川大学), 李冠宏(北陸先端科学技術大学院大学), 藤原正幸(北陸先端科学技術大学院大学),

橋本敬(北陸先端科学技術大学院大学)

P1-15F 異なる評価法によるリスク態度の変化：意思決定者の信念推定に基づく認知プロセスの分析

大貫祐太郎(東京大学 大学院), 本田秀仁(東京大学 大学院), 松香敏彦(千葉大学), 植田一博(東京大学 大学院)

P1-16F 動物訓練における動作・発話行動の相互学習

鮫島和行(玉川大学脳科学研究所), 村井千寿子(精華女子短期大学), 島田将喜(帝京科学大学)

P1-17F 目的や動機が反実仮定の未来改善機能に与える影響に関する検討

北原由絵(名古屋大学 情報科学研究科 メディア科学専攻), 三輪和久(名古屋大学 情報学研究科 心理・認知科学専攻)

P1-18F 球状の野菜や果物はどのように幼児に識別されるのか? (年少児から小学1年児を対象にした横断的な一調査)

牛久香織(心泉學舎)

P1-19F “レモン”より“檸檬”を買いたい：日本語表記の希少性と可読性が食品認知に与える影響

本田秀仁(東京大学大学院総合文化研究科), 藤崎樹(東京大学大学院総合文化研究科), 植田一博(東京大学大学院総合文化研究科)

P1-20F 高齢者のスマートフォンの利用学習過程 —グループ学習型講習会の介入効果の検討—

須藤智(静岡大学大学教育センター), 大木朱美((株)KDDI 総合研究所), 新井田統((株)KDDI 総合研究所)

P1-21F マルチタスクとしての調理に現れるマイクロスリップ

沼口裕太(慶應義塾大学環境情報学部), 諏訪正樹(慶應義塾大学環境情報学部), 坂井田瑠衣(日本学術振興会/慶應義塾大学環境情報学部)

P1-22F 創作経験は鑑賞過程をどのように変容させるか——心理・生理指標の複合的アプローチによる検討

松本一樹(東京大学大学院教育学研究科), Tomasz Rutkowski(BCI Lab), 岡田猛(東京大学大学院教育学研究科)

P1-23F 他者からの見えが指示詞使用に与える影響 —レーザーポインターの使用による検討—

森山信也(東京電機大学大学院理工学研究科), 安田哲也(十文字学園女子大学人間発達心理学科), 小林春美(東京電機大学理工学部)

P1-24F 共通点の探索が創造的なアイデア生成に及ぼす影響

山川真由(名古屋大学大学院教育発達科学研究科), 清河幸子(名古屋大学大学院教育発達

科学研究科)

- P1-25F 脳活動による統語処理優位性仮説の検討 –日本語の場合–  
趙立翠(金沢大学人間社会環境研究科), 安永大地(金沢大学歴史言語文化学系), 入江浩司  
(金沢大学歴史言語文化学系), 小島治幸(金沢大学人間科学系)
- P1-26F 人狼における意思決定過程の研究  
杉本磨美(電気通信大学 情報理工学研究科), 伊藤毅志(電気通信大学 情報理工学研究  
科)
- P1-27F 母子間の視線コミュニケーション空間の発達: 歩行発達との関連から  
山本寛樹(京都大学大学院文学研究科), 佐藤徳(富山大学人間発達科学部), 板倉昭二(京  
都大学大学院文学研究科)
- P1-28F 自動車運転中のマルチタスク遂行における認知的リソース配分の個人差  
西崎友規子(京都工芸繊維大学), 永井聖剛(立命館大学)
- P1-29F 「豊かな食体験」の探究  
福田将人(慶応義塾大学), 諏訪正樹(慶応義塾大学)
- P1-30F ユーザーイノベーション研究の展望と課題  
今村新(JAIST 北陸先端技術大学院大学), 永井由佳里(JAIST), 谷口俊平(JAIST)
- P1-31F 時間遅れを含む仮想テクスチャを表すオノマトペの新奇用法  
平田佐智子(株式会社アイデアラボ), 宇野良子(東京農工大学), 大海悠太(東京工芸大学),  
林淑克(Reading 大学)
- P1-32F 母語と第 2 言語会話における発話中視線行動の傾向分析  
馬田一郎(株式会社 KDDI 総合研究所), 伊集院幸輝(同志社大学), 山本誠一(同志社大学)
- P1-33F 人数が多いほど共同作業はうまくいくのか?--家具組立課題に関する一検討--  
鈴木紀子(帝塚山大学), 今城真由香(同志社大学), 正田悠(立命館大学), 阪田真己子(同  
志社大学), 伊藤紀子(同志社大学), 山本倫也(関西学院大学)
- P1-34F 音のインタラクションにおけるエージェンシー認知についての検討  
齋藤ひとみ(愛知教育大学), 梅本峻太郎(愛知教育大学), 高橋芳奈(愛知教育大学), 野々  
垣真帆(愛知教育大学), 林穂波(愛知教育大学), 村上律子(愛知教育大学), 森岡優樹(愛  
知教育大学), 安田成(愛知教育大学)
- P1-35F ドラムによる多人数インタラクションが参加者の生理反応に及ぼす影響  
正田悠(立命館大学総合科学技術研究機構), 鈴木紀子(帝塚山大学経営学部), 阪田真己子  
(同志社大学文化情報学部), 伊坂忠夫(立命館大学スポーツ健康科学部)
- P1-36F 階層的規則発見に関する実験的検討

寺井仁(近畿大学), 横山翔(近畿大学), 三輪和久(名古屋大学), 藤村聡太(近畿大学), 中山剛太郎(近畿大学)

P1-37F タイピングミスの傾向に基づいたパスワード作成手法の検討

藤原咲子(岩手県立大学), 小倉加奈代(岩手県立大学), Bhed Bahadur Bista(岩手県立大学), 高田豊雄(岩手県立大学)

P1-38F 使いにくさの捉え方: 異なる学生グループを対象とした質問紙調査による検討

谷川由紀子(NEC/筑波大学大学院), 原田悦子(筑波大学人間系)

P1-39 乳児の歩行の発達-ひとまとまりの歩行と歩数

西尾千尋(東京大学大学院)

P1-40 バイミュージカルな調性スキーマの獲得過程

松永理恵(神奈川大学人間科学部), ハルトノピトヨ(中京大学工学部), 横澤宏一(北海道大学大学院保健科学研究所), 阿部純一(北海道大学名誉教授)

P1-41 プロダクトマテリアルの質感創出と質感認知の試行

永井由佳里(北陸先端科学技術大学院大学), 宮田一乗(北陸先端科学技術大学院大学), 日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学), 松村和明(北陸先端科学技術大学院大学), 長尾祐樹(北陸先端科学技術大学院大学)

P1-42 心拍同期視覚フィードバックによる自己身体のプロジェクション

湯本淳史(明治大学大学院理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)

P1-43 個人名に対する印象と人物像の整合性について

宿利由希子(神戸大学大学院)

P1-44 ドアと人のインタラクション-なぜドアが開けられないのか-

加藤由香利(成城大学), 新垣紀子(成城大学)

P1-45 Sequence of Tense と 名詞修飾節における夕形の形容詞的解釈について

山森良枝(同志社大学)

P1-46 リスク選択において参照点を聞き出す簡単な方法

犬童健良(関東学園大学経済学部)

P1-47 構文継承と構文獲得

本多明子(至学館大学健康科学部)

P1-48 協力の負の側面: 7歳児における協働作業時のごまかし行為

池田彩夏(京都大学文学研究科), 奥村優子(NTT コミュニケーション科学基礎研究所), 小林哲生(NTT コミュニケーション科学基礎研究所), 板倉昭二(京都大学文学研究科)

P1-49 高齢運転者の軽度認知障害が運転技能に与える影響に関する研究

河野直子(名古屋大学), 岩本邦弘(名古屋大学), 青木宏文(名古屋大学), 尾崎紀夫(名古屋大学)

P1-50F 格助詞の学習における項が省略された文の役割：出現頻度に着眼して

趙翌(広島大学), 酒井弘(早稲田大学)

P1-51 持続的注意に関する検査結果をフィードバックすることが文章読解中の思考状態や理解に及ぼす影響

藤木大介(広島大学大学院教育学研究科), 二宮由樹(名古屋大学大学院情報学研究科), 堀井順平(愛知教育大学大学院教育学研究科), 外尾恵美子(愛知教育大学大学院教育学研究科)

## フェロー講演

14:30-15:30 会場：101 講義室

視覚と聴覚におけるつじつま合わせ

講演者：筧一彦（名古屋大学名誉教授），横澤一彦（東京大学）

司会：三輪和久

## 野島久雄賞報告セッション

15:30-16:00 会場：101 講義室

企画：野島久雄賞選考委員会

受賞者：鹿子木康弘（NTT コミュニケーション基礎科学研究所／日本学術振興会特別研究員），  
日高昇平（北陸先端科学技術大学院大学）

## OS02 (IR)RATIONALITY in J・D・M

16:10-18:40 会場：102 講義室

企画：本田秀仁（東京大学），中村國則（成城大学）

OS02-1I 合理性と目標多重性：限定合理性と二重合理性を超えて

服部雅史(立命館大学総合心理学部)

OS02-2I 二重過程理論—進化的に新しいシステムは古いシステムからの出力を修正しているのか？

山祐嗣(大阪市立大学)

OS02-3 選択チューニング課題における自己動作変動の過小推定がリスク志向的意思決定を導

<

女川亮司(東京大学総合文化研究科), 進矢正宏(東京大学総合文化研究科), 太田啓示(東京大学総合文化研究科), 工藤和俊(東京大学総合文化研究科)

OS02-4 多様性が導く集合知：集団意思決定の視点に基づく理論的分析

藤崎樹(東京大学大学院総合文化研究科), 本田秀仁(東京大学大学院総合文化研究科), 植田一博(東京大学大学院総合文化研究科)

OS02-5 二重過程理論に基づく不確実性を伴う値の推定に関する検討

松室美紀(名古屋大学 大学院情報学研究科), 三輪和久(名古屋大学 大学院情報学研究科), 寺井仁(近畿大学 産業理工学部)

### **OS09 同じさの諸相：認知科学・数学・哲学からの示唆**

16:10-18:40 会場：302 講義室

企画：布山美慕（玉川大学脳科学研究所），西郷甲矢人（長浜バイオ大学）

OS09-1 物語読書における展開予測の安定と再構築過程に付随する熱中状態

布山美慕(玉川大学), 日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学)

OS09-2 直喩表現の理解における解釈数と主題-喩辞の類似性の関連の検討

岡隆之介(京都大学大学院教育学研究科), 楠見孝(京都大学大学院教育学研究科)

OS09-3 The Systematicity Challenge 再考 —Predictive Processing の観点から—

加藤龍彦(北陸先端科学技術大学院大学知識科学系)

OS09-4I 「同じさ」の措定：圏論的観点から

西郷甲矢人(長浜バイオ大学)

OS09-5I 〈差異〉によって〈同じさ〉を定義する——現象学的考察

田口茂(北海道大学)

### **OS15 実践の中のデザイン・創造研究 実践と研究のマッピング**

16:10-18:40 会場：301 講義室

企画：荷方邦夫（金沢美術工芸大学），永井由佳里（北陸先端科学技術大学院大学），田中吉史（金沢工業大学）

OS15-1I アート活動による能力開発の実践報告

有賀三夏(東北芸術工科大学 創造性開発研究センター)

OS15-2 3D イメージと 3D 印刷されたオブジェクトの利用が熟達者と初学者の空間的推論に与える影響

前東晃礼(名古屋大学大学院情報学研究科), 三輪和久(名古屋大学大学院情報学研究科), 小田昌宏(名古屋大学大学院情報学研究科), 中村嘉彦(苫小牧工業高等専門学校), 森健策(名古屋大学情報連携統括本部), 伊神剛(名古屋大学大学院腫瘍外科学)

OS15-3 デジタル質感生成システム

谿雄祐(関西学院大学), 飛谷謙介(関西学院大学), 山崎陽一(関西学院大学), 井村誠孝(関西学院大学), 長田典子(関西学院大学)

OS15-4 デザイン行為のインデックスによるデザイン支援

猪股健太郎(関西学院大学), 荷方邦夫(金沢美術工芸大学), 佐藤暢(関西学院大学), 河崎圭吾(金沢美術工芸大学), 長田典子(関西学院大学)

OS15-5 視線追従装置を用いた絵画の感性的評価手法の開発

寺朱美(北陸先端科学技術大学院大学), 安藤裕(北陸先端科学技術大学院大学), 藤波努(北陸先端科学技術大学院大学), 永井由佳里(北陸先端科学技術大学院大学)

OS15-6 美術初心者は抽象絵画をどう鑑賞するのか? 発話に基づくタイムコースと解説文の効果の検討

田中吉史(金沢工業大学情報フロンティア学部心理情報学科)

## OS17 再帰性/志向性—共通の思考基盤や限界はあるか?

16:10-18:40 会場: 201 講義室

企画: 時田真美乃(信州大学), 平石界(慶應義塾大学)

OS17-1I 階層的概念構造の展開と抑制: 認知言語学の観点からみた再帰性/志向性

長谷部陽一郎(同志社大学)

OS17-2I 言語の長相関に内在する再帰的生成過程

田中久美子(東京大学先端科学研究センター)

OS17-3I 心の理論と実行機能: 誤信念課題と抑制を中心に

郷式徹(龍谷大学文学部)

OS17-4 2つの再帰「階層的埋め込み」「自己参照」: その適応的機能の差異とヒトにおける実現  
外谷弦太(北陸先端科学技術大学院大学), 浅野莉絵(Institute of Musicology, University of Cologne), 橋本敬(北陸先端科学技術大学院大学)

OS17-5 建設的な相互作用を促す手段としてのプログラミング活用方法の検討

遠山紗矢香(静岡大学)

OS17-6I 心の状態についての再帰的推論は独立した推論なのか：高次の志向性を伴う「論理—数  
学的」課題との関連

時田真美乃(信州大学), 平石界(慶應義塾大学)

9月14日(木)

## 口頭発表2

9:00-10:20 会場：101 講義室

座長：伝康晴(千葉大学)

O2-1 協調学習におけるクラス全体の学習遷移評価手法：学習者のアイデア創造と取り込みに注目して

白水始(東京大学 CoREF), 中山隆弘(東京大学 CoREF), 齊藤萌木(東京大学 CoREF), 飯窪真也(東京大学 CoREF), 水野美沙(富士通株式会社), 大島喜芳(富士通株式会社), 成田秀夫(河合塾)

O2-2 話者移行適格場の到来を予測させる発話中の韻律変化の解明

石本祐一(国立国語研究所), 榎本美香(東京工科大学)

O2-3 エージェントとの会話におけるトップダウン処理とボトムアップ処理 — 眼球運動と印象評価に着目した実験的検討 —

星田雅弘(立命館大学大学院文学研究科), 田村昌彦(立命館大学文学部), 林勇吾(立命館大学総合心理学部)

O2-4 グループワークにおける触媒的参加者の働き — 意識的ではない主導的機能 —

西中美和(総合研究大学院大学), 白肌邦生(北陸先端科学技術大学院大学), 神田陽治(北陸先端科学技術大学院大学)

## ポスターセッション2

10:30-12:30 会場：202, 203 講義室

P2-1 聴覚呈示された同音異義語の処理過程 — 音韻から形態へのフィードバックは生じるのか(2) —

水野りか(中部大学人文学部), 松井孝雄(中部大学人文学部)

P2-2 行為の様相が行為文理解時のボタン押し反応に与える影響

栗津俊二(実践女子大学)

P2-3 シェマティックな顔図形を用いた部分領域の表情認知 — 2次元では、目は口ほどにものを言うのか —

- 林美都子(北海道教育大学函館校), 浅野稔也(北海道教育大学)
- P2-4 日本語における帰納的推論の計算モデルの拡張と検索システムへの応用  
張寓杰(東邦大学理学部情報科学科), 寺井あすか(公立ほこだて未来大学システム情報科学部), 上西秀和(獨協医科大学基本医学情報教育部門), 菊地賢一(東邦大学理学部情報科学科), 中川正宣(大妻女子大学人間生活文化研究所)
- P2-5 不随意運動に伴う遅延聴覚フィードバックに対する脳波 ERP 成分の検討  
桃川智行(明治大学大学院理工学研究科), 上野佳奈子(明治大学理工学部), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)
- P2-6 創造的になるための意思決定バランス — mini-c に着目して —  
近藤健次(北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科), 永井由佳里(北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科)
- P2-7 生態学的な語彙意味論に向けて  
神原一帆(京都大学), 井上拓也(京都大学)
- P2-8 あなたの梅子度はどのくらい? — 親密度効果と大学生の属性推定への応用  
小野創(津田塾大学), 柳野祥子(株式会社ジャストシステム), 小川萌子(津田塾大学 ※ 研究実施時), 大塚亜未(津田塾大学)
- P2-10 趣味への参入をめぐって—レジンアクセサリー制作における野火的活動の実際  
青山征彦(成城大学社会イノベーション学部)
- P2-11 Enhances Critical Thinking Through Case Studies and Concept Maps in College Students  
Nani Barorah Nasution(金沢大学人間社会環境研究科), 谷内通(金沢大学人間社会環境研究科)
- P2-12 数理パズル“タングラム”の洞察的問題解決における視線移動の分析  
中野良樹(秋田大学教育文化学部), 大槻正伸(福島工業高等専門学校電気工学科)
- P2-13 運動調整に基づく個人間の協調過程に関する検討  
市川淳(名古屋大学大学院情報科学研究科/京都工芸繊維大学), 三輪和久(名古屋大学大学院情報学研究科), 寺井仁(近畿大学産業理工学部)
- P2-14 ラットは後に必要な情報を選択的に保持するか?  
田中千晶(金沢大学), 谷内通(金沢大学)
- P2-15 協調的な学びが音楽表現の変容に与える影響  
杉澤千里(富士市立富士南小学校)
- P2-16 身体でスケール化された高さの障害物の跨ぎ越え: 行為安定性の変化に関する予備的検

討

児玉謙太郎(神奈川大学), 安田和弘(早稲田大学), 園田耕平(立命館大学)

P2-17 ラットの予期的対比効果における溶液間間隔による効果

西川未来汰(金沢大学), 谷内通(金沢大学)

P2-18 Head-mounted Display(HMD)を用いた Virtual Reality(VR)体験が人間の情報処理過程に与える影響の検討

田崎帆貴(東京電機大学 情報環境学部 情報環境学科), 林拓弥(東京電機大学 情報環境学部 情報環境学科), 日根恭子(東京電機大学 情報環境学部 情報環境学科)

P2-19 知識と鑑賞方略が抽象画の評価に及ぼす影響

木下雄斗(信州大学), 島田英昭(信州大学)

P2-20 待ち時間に対する満足度評価の心的プロセス - 時間評価の丁度可知差異に基づく理論モデル -

新井田統(KDDI 総合研究所), 原田悦子(筑波大学)

P2-21 ランダムに配置された粒子群画像の周期的提示による運動認知 II

大槻正伸(福島工業高等専門学校), 大塩智則(福島工業高等専門学校), 小泉康一(福島工業高等専門学校), 車田研一(福島工業高等専門学校)

P2-23 日本人英語学習者の構文産出傾向

森下美和(神戸学院大学), 原田康也(早稲田大学)

P2-24 周辺視における画像加工が中心視の注意に与える影響

茂木航介(東京電機大学情報環境学部情報環境学科), 日根恭子(東京電機大学情報環境学部情報環境学科)

P2-25 ITS とメディア論の融合可能性を研究手法のモデル化によって検討する

森田均(長崎県立大学国際社会学部)

P2-26 未完成図を完成させることによる文章理解の促進

福丸歩実(千葉工業大学大学院), 山崎治(千葉工業大学)

P2-27 新しい数学概念の導入時における協調的学習の効果

永井香(東京 桜美林中学校・高等学校)

P2-28 不確かな状況における選択率の推移に関する実験的検討

田村昌彦(立命館大学)

P2-29 隠喩的表現における面白さと三大理論の関係の検討

中村太戯留(慶應義塾大学)

P2-30 試行の動作主に関する認識がモニタリングの適切さに及ぼす影響——洞察課題を用いた

検討——

清河幸子(名古屋大学大学院教育発達科学研究科)

P2-31 自然の循環の論理と人間の情報処理を考える

福永征夫(アブダクション研究会)

P2-32 ドラム打叩動作における身体の協応と熟達に関する研究：身体—スティック系を分析単位とした打叩安定性の検討

谷貝祐介(人間科学研究科), 古山宣洋(早稲田大学人間科学学術院), 三嶋博之(早稲田大学人間科学学術院)

P2-33 セリフを介した登場人物の印象評価に及ぼす演者の性別の効果～宝塚歌劇作品「エリザベート」を用いた検討～

小島隆次(滋賀医科大学医学部), 井手菜月(滋賀医科大学医学部)

P2-34 目の形の違いが文章の信ぴょう性に与える影響

佐山公一(小樽商科大学)

P2-35 代理報酬が他者への共感に与える影響：皮膚電気反応による検討

Aziem Athira Abdullah(明治大学理工学研究科), 中島瑞貴(明治大学理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)

P2-36 児童期における大域と局所の関係性についての注意能力変化

橋爪一治(島根大学大学院教育学研究科教育実践開発専攻), 森脇春奈(前島根大学教育学部)

P2-37 動画授業視聴時の生徒間脳活動相関解析

平子祐亮(明治大学大学院理工学研究科電気工学専攻), 伊藤貴昭(明治大学文学部), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)

P2-38 多様な英語力の測定

原田康也(早稲田大学), 森下美和(神戸学院大学), 鈴木正紀(ピアソン)

P2-39 電子書籍の“違和感”と小説の表層的／深層的理解度との関係

後藤靖宏(北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科)

P2-40 視線計測を利用した動画視聴支援システムの試作と評価実験

森下浩平(大阪経済法科大学), 西田健志(神戸大学)

P2-41 日本語における知覚的挿入母音再考

松井理直(大阪保健医療大学)

P2-42 「リターントリップエフェクト」研究の理論的問題に関する考察 一日常経験としてのRTEへの着目

山本敦(早稲田大学大学院人間科学研究科), 阿部廣二(早稲田大学大学院人間科学研究科)

P2-43 オフィス改革による公務員の職場における意識・行動の変化に関する検討 – 愛媛県西予市を事例として –

戸梶亜紀彦(東洋大学)

P2-44 乳児における Gaze-Leader への選好：自己・他者・環境の三項関係の理解

石川光彦(京都大学文学研究科), 板倉昭二(京都大学文学研究科)

P2-45 嚙下音による嚙下運動の促進効果

松田剛(京都府立医科大学), 山脇正永(京都府立医科大学)

P2-46 葛藤事態において向社会的行動の送り手は何を思うのか

石川悟(北星学園大学文学部)

P2-47 乳幼児の住む家における家具の配置の変遷と行為発達

青山慶(松蔭大学コミュニケーション文化学部)

P2-48 俳句における品詞の遷移の分析—俳句生成での利用に向けて—

伊藤拓哉(岩手県立大学ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科), 小方孝(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)

P2-49 修飾構造における重複について —日本語と中国語の対照から—

程莉(中国) 武漢大学)

P2-50 具体動詞・抽象動詞理解における空間イメージとその規定因の検討

平知宏(大阪市立大学)

P2-51 統合物語生成システムの動詞概念格構造における名詞概念の制約の再検討

荒井達也(岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科), 小方孝(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)

P2-53 過剰に意味を創り出す認知：ホモ・クオリタスとしての人間理解へ向けて

高橋康介(中京大学), 日高昇平(JAIST), 小川奈美(東京大学), 西尾慶之(東北大学)

## 運営委員会

12:30-13:30 会場：302 講義室

## 総会

13:30-14:00 会場：101 講義室

## 特別講演

14:10-15:30 会場：101 講義室

人工知能と棋士は囲碁の深淵に迫れるか

講演者：大橋拓文（棋士・日本棋院）

指定討論者：シモン・ピエノ（北陸先端科学技術大学院大学）

司会：日高昇平（北陸先端科学技術大学院大学）

## OS03 プロジェクション・サイエンスの基盤と展開

15:40-18:10 会場：101 講義室

企画：鈴木宏昭（青山学院大学），小野哲雄（北海道大学），嶋田総太郎（明治大学）

OS03-1I プロジェクション科学の射程：ラバーハンド錯覚とミラーシステム

嶋田総太郎(明治大学)

OS03-2 身体像の投射を用いた「自己所有感」と「自己主体感」のゆらぎ

瀧見彰太(北海道大学)，坂本大介(北海道大学)，小野哲雄(北海道大学)

OS03-3 腐女子の「女子ジレンマ」

久保（川合）南海子(愛知淑徳大学)

OS03-4 HMD 空間における三人称定位：幽体離脱と Own Body Transformation からのアプローチ

小鷹研理(名古屋市立大学芸術工学研究科)

OS03-5 投射のトリガと認知過程：投射のソースと投射を促す要因・阻む要因に着目して

鈴木聡(大阪経済法科大学)

OS03-6 2歳児における自己顔部位の空間的定位～拡張現実を用いた新課題を用いて

宮崎美智子(大妻女子大学)，浅井智久(ATR)，麦谷綾子(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)

OS03-7 プロジェクションと熟達 ～マイケル・ポランニーの暗黙的認識の観点から～

横山拓(青山学院大学社会情報学研究科)，鈴木宏昭(青山学院大学)

## OS06 即興と身体性

15:40-18:10 会場：102 講義室

企画：岡部大介（東京都市大学），青山征彦（成城大学），郡司菜津美（国士舘大学）

指定討論者：青山征彦（成城大学），南部美砂子（はこだて未来大学）（指定討論者）

OS06-1I じゃんけんの同期はいかに即興的に達成されるか

細馬宏通(滋賀県立大学)

OS06-2 家の中の趣味活動を可能にする相互行為

松浦李恵(慶應義塾大学)

OS06-3 俳優の身体におけるイベント知覚の二重性—一人芝居の創作過程の分析より—

佐藤由紀(玉川大学リベラルアーツ学部), 青山慶(松蔭大学コミュニケーション文化学部),  
高木優希(玉川大学リベラルアーツ学部)

OS06-4 ジャンプ動作の指示とパフォーマンス：言葉と動きの関係を探る

深田智(京都工芸繊維大学), 来田宣幸(京都工芸繊維大学), 小島隆次(滋賀医科大学), 北  
尾浩和(京都工芸繊維大学), 萩原広道(京都大学)

## OS12 複雑性を伴う認知過程をどう捉えるか

15:40-18:10 会場：201 講義室

企画：市川 淳（名古屋大学），清水大地（東京大学），中野優子（東京大学），山田雅敏（常  
葉大学/静岡大学），北 雄介（京都大学）

OS12-1 舞台表現における他者との相互作用に関する熟達者間差

清水大地(東京大学大学院教育学研究科), 岡田猛(東京大学大学院教育学研究科・情報学  
環)

OS12-2 身体を積極的に利用した創造的鑑賞とその効果

中野優子(東京大学大学院学際情報学府), 岡田猛(東京大学大学院教育学研究科, 情報学  
環)

OS12-3 ラグビー高校日本代表チームにおける集団語と選手の身体意識の変容に関する研究

山田雅敏(常葉大学), 里大輔(SATO SPEED Inc.), 坂本勝信(常葉大学), 砂子岳彦(常葉  
大学), 竹内勇剛(静岡大学創造科学技術大学院)

OS12-4I 集団スポーツを例とした現象の主体と観測者から見た認知過程

藤井慶輔(理化学研究所 革新知能統合研究センター)

## OS13 異質な集団の相互理解の認知科学：研究のすそ野を広げる方法論を求めて

15:40-18:10 会場：302 講義室

企画：齋藤洋典（名古屋大学），小橋康章

OS13-1I 高齢化社会で住民、行政、学生の全てがウィンウィンとなる地域創生プロジェクト「ミニ移動大学」

國藤進(北陸先端科学技術大学院大学)

OS13-2 共助マップ共創システムによる高齢住民の共助意識の啓発支援：石川県河北郡内灘町高齢者コミュニティ鶴親会における事例

田中孝治(北陸先端科学技術大学院大学知識科学系)，尹明睿(北陸先端科学技術大学院大学知識科学系)，堀雅洋(関西大学総合情報学部)，浜崎優子(佛教大学保健医療技術学部)，殿山範子(金沢医科大学看護学部（現 純真学園大学保健医療学部）)，池田満(北陸先端科学技術大学院大学知識科学系)

OS13-3 高齢者が人工物利用時に示す「怖がり」：怖がり表出の人工物間比較

田中伸之輔(筑波大学大学院人間総合科学研究科)，原田悦子(筑波大学人間系)

OS13-4 共進化のデザイン

水津功(愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻)，齋藤洋典(名古屋大学大学院情報学研究科)

OS13-5I 「世代間衡平」をめぐる協調的問題解決の可能性

亀田達也(東京大学大学院人文社会系研究科)

## OS16 認知科学で捉える相互行為

15:40-18:10 会場：301 講義室

企画：坂井田瑠衣（日本学術振興会／慶應義塾大学），牧野遼作（早稲田大学），名塩征史（静岡大学）

OS16-2 問題発見のシークエンス分析：野沢温泉道祖神祭りの準備活動の事例から

阿部廣二(早稲田大学大学院人間科学研究科)

OS16-3I ふたつのアイデンティティ：いまここのコミュニケーションと認知科学

南保輔(成城大学文芸学部)

OS16-4 他者への化粧行為と雑談

天谷晴香(国立国語研究所)

OS16-5 協働作業において相手の環境との関わり方を観察する－野沢温泉村道祖神祭りの準備における氷点下の木遣りの事例から－

高梨克也(京都大学大学院情報学研究科)

OS16-6 失語がある人の生活場面の エスノメソドロジー・会話分析研究 (2)

西澤弘行(常磐大学 人間科学部 コミュニケーション学科), 坂井田瑠衣(日本学術振興会/慶應義塾大学環境情報学部), 川嶋明子(西武学園医学技術専門学校 東京池袋校 言語聴覚学科)

OS16-7 猿田彦の舞における拍子方の相互行為分析：野沢温泉湯澤神社例祭の事例から

寺岡丈博(東京工科大学メディア学部), 伝康晴(千葉大学大学院人文科学研究院), 榎本美香(東京工科大学メディア学部)

OS16-8 「わかっている」ことを示すこと：知覚の不均衡における認識の擦り合わせ

坂井田瑠衣(日本学術振興会/慶應義塾大学環境情報学部), 西澤弘行(常磐大学人間科学部), 南保輔(成城大学文芸学部)

## 懇親会

18:10-19:30 会場：1階ロビー

9月15日（金）

### 口頭発表3

9:00-10:20 会場：101 講義室

座長：川合伸幸（名古屋大学）

03-1 一夫一妻的恋愛関係の維持に関わる認知神経基盤—交際期間に依存した前頭葉領域による浮気欲求の能動的抑制

上田竜平(京都大学大学院文学研究科・日本学術振興会), 柳澤邦昭(京都大学こころの未来研究センター), 蘆田宏(京都大学大学院文学研究科), 阿部修士(京都大学こころの未来研究センター)

03-2 離れて暮らす子供との遠隔共食が親の主観的幸福感にもたらす要因の多角的検討

徳永弘子(東京電機大学), 紺野遥(東京電機大学), 日根恭子(東京電機大学), 武川直樹(東京電機大学)

03-3 赤信号が続いた後の黄信号で高齢者は高い接近動機づけ（攻撃性）を示す -近赤外線分光法（NIRS）による検討-

中田龍三郎(名古屋大学情報学研究科), 久保（川合）南海子(愛知淑徳大学心理学部), 岡ノ谷一夫(東京大学総合文化研究科), 川合伸幸(名古屋大学情報学研究科)

03-4 現状維持バイアスに年齢・情動・ストレスが及ぼす影響

河端健司(北九州市立大学マネジメント研究科2年), 武田諭志(北九州市立大学マネジメント研究科2年), 川原大幸(北九州市立大学マネジメント研究科2年), 松田憲(北九州市立大学マネジメント研究科教授)

### 特別企画シンポジウム

10:30-12:00 会場：101 講義室

企画：小島治幸（金沢大学）

認知科学とロボティクスの未来

講演者：浅田稔（大阪大学）

指定討論者：植田一博（東京大学）, 鈴木宏昭（青山学院大学）, 永井由佳里（北陸先端科学技術大学院大学）

## OS01 質感の認知科学

13:00-15:30 会場：313 講義室

企画：坂本真樹（電気通信大学），権眞煥（電気通信大学）

OS01-1I 絵画に対する選好に見られるポルトガル人と日本人の類似性と相違点

中内茂樹(豊橋技術科学大学 情報・知能工学系), 近藤泰成(豊橋技術科学大学 情報・知能工学系), 東広志(豊橋技術科学大学 情報・知能工学系), Nascimento Sérgio(University of Minho)

OS01-2 質感認知における触覚と聴覚の関係

高佐原舞(電気通信大学), 波多駿(電気通信大学), 権眞煥(電気通信大学), 梶本裕之(電気通信大学), 水戸和幸(電気通信大学), 坂本真樹(電気通信大学)

OS01-3 触覚ディスプレイによる指先への触知文字の呈示法と識別特性

富澤晶(電気通信大学), 水戸和幸(電気通信大学), 板倉直明(電気通信大学), 水野統太(電気通信大学)

OS01-4 オノマトペによる視覚処理の変調

郷原皓彦(九州大学大学院人間環境学府・日本学術振興会), 山田祐樹(九州大学基幹教育院)

OS01-5 街の質感を表現する ―都市様相論とオノマトペマップ―

北雄介(京都大学 学際融合教育研究推進センターデザイン学ユニット), 山田雅敏(常葉大学 健康プロデュース学部)

## OS04 フィールドに出た認知科学 3

13:00-18:10 会場：301 講義室

企画：藤井晴行（東京工業大学），諏訪正樹（慶應義塾大学），伝康晴（千葉大学）

OS04-1 広大な野外における会話時の身体の空間配置：野沢温泉道祖神祭りの準備作業における事例から

伝康晴(千葉大学大学院人文科学研究院)

OS04-2 共同作業における指揮者の掛け声と身体動作 -- 野沢温泉村道祖神祭りの里引きの事例から --

細馬宏通(滋賀県立大学)

OS04-3 協働活動に埋め込まれた現場指示の「これ」と「それ」の用法～北信州野沢温泉に伝わる道祖神祭りの準備作業場面より～

榎本美香(東京工科大学), 高梨克也(京都大学)

OS04-4 室内楽の練習場面におけるメタファー表現の使用 —— 概念領域と身体動作の傾向を中心に ——

西田紘子(九州大学大学院芸術工学研究院), 横森大輔(九州大学大学院言語文化研究院)

OS04-5 写真日記を作成することによる空間図式探究

藤井晴行(東京工業大学 環境・社会理工学院), 篠原健一(日本大学 生産工学部)

OS04-6 アイドルファンとソーシャルメディア：友だちづくりのための情報環境デザインの分析  
南部美砂子(公立はこだて未来大学), 福島由佳(NEC ネットエスアイ)

OS04-7 伊是名集落における生活者の語りから導かれる空間図式の探究

篠崎健一(日本大学生産工学部), 藤井晴行(東京工業大学・環境社会理工学院)

OS04-8 空手の基本動作を教授・練習する場の相互行為：統率の枠を超える参与者（師範）による個別指導の観察と分析

名塩征史(静岡大学)

OS04-9 アイスホッケーにおける熟達過程の姿勢と間合いの可視化

山田雅之(星槎大学)

OS04-10 日常会話における共有プランの構築過程の類型

川端良子(国立国語研究所、千葉大学), 伝康晴(千葉大学、国立国語研究所)

## **OS05 過剰に意味を創り出す認知：ホモ・クオリタスとしての人間理解へ向けて**

13:00-15:30 会場：101 講義室

企画：高橋康介（中京大学），日高昇平（北陸先端科学技術大学院大学）

OS05-1I 多感覚を統合したがる自己：なぜ身体所有感を感じてしまうのか

小川奈美(東京大学)

OS05-2I 現実感が道理をしのぐ時：神経疾患患者の幻覚体験にそなわる現実感

西尾慶之(東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野)

OS05-3 間隙をつくる障害物の“人らしさ”は、通り抜け行為に影響を与えるか？ - 間隙の通過可否判断研究からの一考察

友野貴之(早稲田大学 大学院), 古山宣洋(早稲田大学 人間科学学術院), 三嶋博之(早稲田大学 人間科学学術院)

OS05-4 新たな減価効果一顔の多重重複は不気味さを生む一

米満文哉(九州大学大学院人間環境学府), 佐々木恭志郎(早稲田大学理工学術院基幹理工学部・九州大学基幹教育院・日本学術振興会特別研究員(SPD)), 郷原皓彦(九州大学大学院人間環境学府・日本学術振興会特別研究員(DC1)), 山田祐樹(九州大学基幹教育院)

OS05-5 特徴の統合によるオブジェクト構成の計算論に向けて

日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学)

## OS08 情報視覚化の認知理論と応用

13:00-15:30 会場：102 講義室

企画：佐藤 有理 (University of Brighton), 下嶋 篤 (同志社大学)

OS08-1I 情報視覚化の認知研究：背景説明

佐藤有理(University of Brighton), 下嶋篤(同志社大学)

OS08-2 グラフ理解と判断におけるボトムアップおよびトップダウン処理の影響

福岡未紗(名古屋大学大学院情報学研究科), 三輪和久(名古屋大学大学院情報学研究科), 前東晃礼(名古屋大学大学院情報学研究科)

OS08-3 オイラー図を用いたヘテロジニアス推論---ルールベースとモデルベースの推論---

竹村亮(日本大学), 片桐恭弘(はこだて未来大学)

OS08-4 空間表現と記号表現との統合による修辞理解

片桐恭弘(公立はこだて未来大学)

OS08-5 オントロジーの認知的に有効な視覚化：空間的図形表現の限界？

佐藤有理(University of Brighton), Gem Stapleton(University of Brighton), Mateja Jamnik(University of Cambridge), Zohreh Shams(University of Cambridge), Andrew Blake(University of Brighton)

OS08-6I 図的表現の視覚認知メカニズム

杉尾武志(同志社大学文化情報学部)

## OS11 主体性と成長を促すヒューマンロボットインタラクションの新展開

13:00-18:10 会場：201 講義室

企画：高橋英之（大阪大学，ERATO），吉川雄一郎（大阪大学，ERATO），熊崎 博一（金沢大学），伴碧（同志社大学）

OS11-1 社会の縮図としての“人狼がいないかもしれない3人狼”パラダイムの提案とロボットによる行動変容の試み

高橋英之(大阪大学・ERATO)，伴碧(同志社大学)，大澤博隆(筑波大学)

OS11-2 人とロボットの相互理解を目指した心のアーキテクチャの提案

小山虎(大阪大学基礎工学研究科，JST ERATO)，石黒浩(大阪大学基礎工学研究科，JST ERATO)

OS11-3 HRI における共感コミュニケーション実現のための感情モデル

日永田智絵(電気通信大学)，長井隆行(電気通信大学)

OS11-4 ロボットとの運動同期は共同注意を促進するのか？

大北碧(専修大学，日本学術振興会)，澤幸祐(専修大学)

OS11-5 随意・不随意行動に着目した半自律テレプレゼンスロボットのふるまいの印象調査

大澤正彦(慶應義塾大学/日本学術振興会特別研究員)，滝本佑介(慶應義塾大学)，奥岡耕平(慶應義塾大学)，今井倫太(慶應義塾大学)

OS11-6 身体的なインタラクションを通じた対人的な関係構築のプロセスに関する検討

坂本孝丈(静岡大学創造科学技術大学院)，竹内勇剛(静岡大学創造科学技術大学院)

OS11-7 ロボットとのリズム相互作用は子どもの描画に「目」を与える

伴碧(同志社大学)，高橋英之(大阪大学)

OS11-8 子どもたちの主体性や成長の可能性を引き出すヒューマンロボットインタラクションの実現に向けて

岡夏樹(京都工芸繊維大学)，塚本亜美(京都工芸繊維大学)，寺岡弘貴(京都工芸繊維大学)，鶴田穰士(京都工芸繊維大学)，廣田敦士(京都工芸繊維大学)，早川博章(京都工芸繊維大学)，市川淳(京都工芸繊維大学)，田中一晶(京都工芸繊維大学)，長井隆行(電気通信大学)，大森隆司(玉川大学)

OS11-9I 人工物としてのロボットに向き合う：創発的利用の視点から

原田悦子(筑波大学)

OS11-10I 機械に対する悪意の帰属

寺田和憲(岐阜大学)

OS11-11I モノに対する作法と擬人化

上出寛子(名古屋大学), 新井健生(大阪大学)

OS11-12I 〈不完結な発話〉の備える対話性について

西脇裕作(豊橋技術科学大学 情報・知能工学系), 吉見健太(豊橋技術科学大学 情報・知能工学系), 岡田美智男(豊橋技術科学大学 情報・知能工学系)

OS11-13I 〈弱いロボット〉の研究:人とロボットとの持ちつ持たれつ関係をめざして

岡田美智男(豊橋技術科学大学)

OS11-14I ロボットによる傾聴を通じた自己開示の促進

内田貴久(大阪大学, JST ERATO), 高橋英之(大阪大学, JST ERATO), 伴碧(同志社大学), 島谷二郎(大阪大学, JST ERATO), 吉川雄一郎(大阪大学, JST ERATO), 石黒浩(大阪大学, JST ERATO)

OS11-15I 自閉スペクトラム症者へのアンドロイドを用いた就職面接訓練についての予備的実験

熊崎博一(金沢大学子どもこころの発達研究センター), 吉川雄一郎(大阪大学大学院基礎工学研究科), 松本吉央(産業技術総合研究所ロボットイノベーション研究センター), 石黒浩(大阪大学大学院基礎工学研究科), 宮尾益知(どんぐり発達クリニック), 三邊義雄(金沢大学子どもこころの発達研究センター), 菊知充(金沢大学子どもこころの発達研究センター)

OS11-16I 自閉症スペクトラムとロボット

宮尾益知(どんぐり発達クリニック、ギフトド研究所)

## **OS18 「脳／心理」 - 「記号／文芸」 - 「社会／制度」をつなぐ物語生成**

13:00-18:10 会場: 302 講義室

企画: 小方 孝 (岩手県立大学), 新田義彦 (日本大学), 阿部明典 (千葉大学), 金井明人 (法政大学), 青木慎一郎 (岩手県立大学), 清野 絵 (高齢・障害・求職者雇用支援機構), 浅川伸一 (東京女子大学), 川村洋次 (近畿大学), 廣田章光 (近畿大学)

OS18-1I 「脳／心理」 - 「記号／文芸」 - 「社会／制度」をつなぐ物語生成

小方孝(岩手県立大学)

OS18-2I 俳句生成の認知科学的考察

新田義彦(言語研究アソシエーション/日本大学), 小方孝(岩手県立大学)

OS18-3I 詩歌は記号学的確執の夢を見るか?

阿部明典(千葉大学)

OS18-4I 変分自動符号化モデルと符号－複合モデルによる短文対話モデル

浅川伸一(東京女子大学)

OS18-5I 広告映像技法と好感要因の変遷－社会調査データからの分析

川村洋次(近畿大学経営学部)

OS18-6I 開発焦点の収束・拡散とプロタイピング

廣田章光(近畿大学)

OS18-7I 認知的転換に向けた映像修辞

金井明人(法政大学社会学部)

OS18-8I 学習困難とストーリー生成

青木慎一郎(岩手県立大学)

OS18-9I 発達障害者に関する自由記述文のテキスト分析と物語生成

清野絵(独) 高齡・障害・求職者雇用支援機構), 榎本容子(独) 高齡・障害・求職者雇用支援機構), 宮澤史穂(独) 高齡・障害・求職者雇用支援機構)

OS18-10 味わいの表現生成を支える重奏的意味づけ構造における描画表象の分析

福島宙輝(慶應義塾大学)

OS18-11 驚きを生み出すギャップ技法－TRPG に基づく物語自動生成ゲームにおけるストーリー生成機構の開発－

小野淳平(岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科), 小方孝(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)

## OS10 創造性のキモをつかむ

15:40-18:10 会場：102 講義室

企画：阿部慶賀(岐阜聖徳学園大学), 清河幸子(名古屋大学), 寺井 仁(近畿大学)

OS10-1I 製品開発における創造性

小俣貴宣(ソニー株式会社 R&D プラットフォーム), 黒嶋智美(玉川大学 ELF センター), 萱場豊(東京大学大学院経済学研究科)

OS10-2 新しい視点の発見：グループ展における美術制作を題材として

新垣紀子(成城大学)

OS10-3 集団の創造的なアイデアの生成におけるメンバーの専門多様性の影響

布施瑛水(東京工業大学工学院機械系エンジニアリングデザインコース齊藤滋規研究室),

齊藤滋規(東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 エンジニアリングデザインコース 准教授)

OS10-4 洞察問題解決過程における制約逸脱に身体動作が与える影響

梁川祥吾(東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程), 齊藤滋規(東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 エンジニアリングデザインコース 准教授)

OS10-5 生成された現在の状態に関する情報の価値を評価するためのタスクによらない目的関数の提案

須藤明人(静岡大学), 藤原直哉(東京大学空間情報科学研究センター), 徳田慶太(東京大学医学部附属病院薬剤部), 本田秀仁(東京大学大学院総合文化研究科), 植田一博(東京大学大学院総合文化研究科)

OS14 言語と言語認知の多様性と普遍性を追求する：フィールド心理言語学

15:40-18:10 会場：101 講義室

企画：小泉政利（東北大学），安永大地（金沢大学）

OS14-1I 脳波からみたカクチケル語の基本語順

安永大地(金沢大学 歴史言語文化学系)

OS14-2I カクチケル語の基本語順と文理解 – fMRI 実験による検証 –

金情浩(京都女子大学)

OS14-3I タロコ語の聴覚文理解：語順と態の効果

小野創(津田塾大学)

OS14-4I タロコ語文理解の処理負荷に及ぼす語順の影響：ERP および瞳孔反応を指標として

新国佳祐(東北大学), 矢野雅貴(東北大学/日本学術振興会)

OS14-5I ジェスチャーから読み解く言語と思考の関係ータロコ語と英語の比較を通して

里麻奈美(沖縄国際大学)